



◆良寛の書の魅力

5月31日から始まる『世界とつながる書の魅力展』では、カナダ・ケベック州で書を学ぶ方々、地元魚沼の書道愛好家や子どもたちが、良寛の言葉を書いた作品を展示します。それぞれの解釈で表現された良寛の言葉の魅力を味わってみたいと思います。その他、当館所蔵の良寛の書、関連する彫刻や絵画、會津八一の書なども展示します。

良寛は江戸時代の禅僧で、歌を詠み、書を書き、生涯にわたって寺を持たず五合庵に住して清貧の生き方を貫き、子どもたちにも優しく、地元の住民から慕われていたといわれています。南魚沼にも良寛の作品に魅了された愛好家は多く、良寛の遺徳を顕彰する団体である良寛会の全国大会が6月に南魚沼市民会館で開かれます。

この機会に、実際に良寛の作品や心に触れてみてはいかがでしょうか。ご来館をお待ちしております。
(広田かおり)



熊谷幸太郎「良寛立像」

◆新規企画のご案内

しばらくの間、コロナ禍で開催を休止していたフォークソングライブですが、2025年にグループ名を「4つ葉のクローバー（4LC）」に変更して、イケビに帰ってきました。フォークソングを中心に昭和歌謡やポップスなどを演奏していただいた後、会場の皆様と一緒に季節のフォークソングを唄うコーナーもあり、毎回盛り上がりがあります。このライブは毎月第4日曜日の午後2時（5月のみ18日）からの定期開催となり、ライブ観覧は無料になっておりますので、お気軽にご参加いただければと思います。

そして、5月28日（水）午後2時から、新規の文化講座「池美ヨガ教室」が開講します。講師はエアロヨガ講座でおなじみの高橋みゆき先生です。ゆったりとした動きで心も身体もリフレッシュしてみませんか？ 開講日は5月〜7月の第4水曜日です。お申込みは美術館まで。
(山口加奈子)

◆イケビの新人です

はじめまして。5月から南魚沼市地域おこし協力隊として着任しました。山室菜由と申します。今後、池田記念美術館を拠点として活動して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

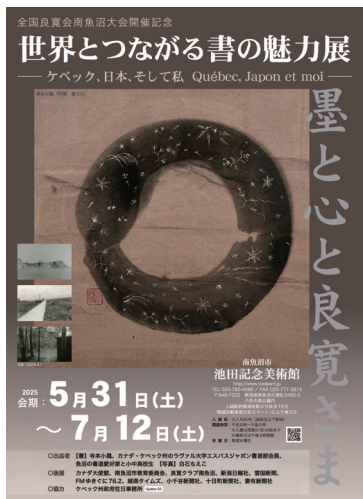
山形県の美大を卒業後、山形県内の企業に就職。アートからは少し離れていましたが、今回ご縁があり、南魚沼の地で芸術×地域の最前線へと飛び込むことになりました。学生

時代はワークショップの企画・実践や社会教育について学び、社会の中にアートを活かす方法を様々な経験を通して培いました。これからどんな出会いがあるのかワクワクドキドキです。地域の方々や子どもたちとの関わりを大切に、アートのみならず多様な活動をしていきたいと思えます。芸術文化の楽しさや新たな発見など豊かな時間をみなさんと共有していけると嬉しいです。
(山室菜由)

◆春を迎えた美術館

雪消えが遅かったせいか、いつもならすぐに散ってしまう桜が、この春は何日も咲き続け、いつまでも楽しめました。魚沼や頸城の曲がりくねった山道を山桜や染井吉野を眺めながら運転すると、雪深い大地から湧き上がってくるような色彩に驚嘆します。驚いたといえは、ニホンジカに遭遇したことです。噂には聞いていたのですが、越後山脈を越えて上州あたりからやってきたのでしょうか。

美術館の立地する八色の森公園にも花の色が日ごとに多くなってきました。散歩する人の姿も浮き浮きしているように見えます。当館では、新年度も多くの企画展を開催します。昨年まで8年連続で実施した「八色の森の美術展」は今年から2年に一度のピエンナレとして新展開します。秋から初冬にかけては、地元の文化祭や美協会員展もあります。どうぞ、ご期待ください。
(高橋良一)



【全国良寛会南魚沼大会開催記念】

世界とつながる書の魅力展

—ケベック、日本、そして私 Québec, Japon et moi—

6月28日～29日に南魚沼市を会場に開催される全国良寛会記念講話をする書道家の寺本小鳳さんは2017年、カナダ・ケベック州にある州立ラヴァル大学エスパスジャポン書道部設立時から、講師としてケベックの方たちに日本の伝統文化である書道を様々な角度から紹介し指導してきました。帰国後もオンラインと年1回の現地訪問で指導を続けています。エスパスジャポン書道部は、2024年秋にケベックシティのギャラリーで展覧会を開催して大きな反響があり、2025年春には東京展を

開催しました。今回の企画展では、

- ①寺本小鳳さんと寺本さんが指導するラヴァル大学エスパスジャポン書道部会員の書
- ②魚沼の書道愛好家と書道教室の小中高校生の書【良寛の漢詩、和歌、俳句、手紙などの中から、各自が選んだ言葉】
- ③当館所蔵及び個人蔵の「良寛の書」や「良寛像」
- ④写真家・白石ちえこさんが参加したケベックの国際フォトフェスティバル『Photo Gaspésie』でレジデンシー制作した写真作品
- ⑤ケベック紹介パネル、ポスター、映像を共同展示します。
また、会期中、以下の国際交流イベントを開催します。
- ⑥円相を描くワークショップ
- ⑦ケベック書道部会員、白石ちえこさんのトークショー

①池田記念美術館収蔵品展

+ [冬季特別展示] 第8回 錯覚展 2025

■4月1日(火)～4月5日(土)

3月15日から実施した「池田記念美術館収蔵品展」と同じく1月25日からの「冬季特別展示 第8回 錯覚展 2025」を年度をまたいで開催。

②大竹幸子遺作展—人を想い、人を描く—

■4月12日(土)～5月24日(土)

2024年に逝去した大竹幸子の遺作展。南魚沼郡展賞・奨励賞を受賞するほか、新潟県展では新潟日報美術振興賞を受賞するなど、料理店を営みながら、やさしい眼差しで描いた油彩画のうち、人物画を中心に展示。

③ [全国良寛会南魚沼大会開催記念]

世界とつながる書の魅力展

—ケベック、日本、そして私 Québec, Japon et moi —

■5月31日(土)～7月12日(土)

全国良寛会南魚沼大会で講演する寺本小鳳さん、寺本さんが長年指導するカナダ・ケベック州の書道部会員の作品、地元魚沼の書道愛好家と小中高校生が良寛の言葉を書いた作品、ケベックの写真など、ともに雪深いケベックと魚沼の「書を通じた国際交流」の展覧会。

④第26回 八海山夢展+第8回 八海山ジュニア展

■7月19日(土)～9月6日(土)

魚沼在住の美術愛好家を中心にして、絵画、書道、写真、水石、工芸の5部門で約100名が出展するイケベの夏を彩る展覧会。令和6年度新潟県ジュニア展に入賞した近隣地域(南魚沼市と魚沼市)の児童生徒の作品も共同展示します。

⑤八色の森ビエンナーレ 2025

■9月13日(土)～11月3日(月・祝)

2017年から8年連続開催した「八色の森の美術展」と昨秋の高校生が主体的にキュレーションした「アート試食会」の実績と総括のもとに新たな現代美術展を企画。出品作家の作品と地元の子どもの作品との共同展示や、鑑賞型哲学対話などの関連イベントによって各方面から高く評価されてきた美術展を継承しながらも進化を図り、美術館の未来像を提起します。

⑥ [NHK朝ドラ「ばけげん」関連企画]

小泉セツ資料展

■11月8日(土)～12月6日(土)

家族間の手紙や、スケッチ、友人からの手紙など、当館所蔵の貴重な資料を展示。11月8日には、八雲・セツの曾孫、小泉凡氏の講演会を開催します。

⑦第4回 大和文化祭

■11月15日(土)～11月16日(日)

南魚沼市大和地区の文化発表。会期中は入館無料です。

⑧第46回 南魚美術協会会員展

■12月12日(金)～12月14日(日)

南魚美術協会に所属する会員の美術展。絵画、彫刻、書道、写真部門の作品を展示。会期中は入館無料です。

※L E D化工事休館日 12月15日(月)～26日(金)

※年末年始休館日 12月27日(土)～1月4日(日)

⑨第70回記念 南魚沼都市児童生徒美術展

■1月5日(月)～1月20日(火)

南魚沼市と湯沢町の児童生徒の作品約400点と教職員の作品を展示。会期中、手仕事の作品を展示販売する雪見展と一箱古本市を開催。会期中は入館無料です。

⑩第15回記念 魚沼ベストショット展

■1月24日(土)～3月8日(日)

魚沼に魅せられ撮影した自慢のベストショットを展示。県展・市展などの入選者も多く、約50人が参加します。

⑪ [冬季特別展示]

第9回 錯覚展 2026 「杉原教授の不思議な世界」

■1月24日(土)～4月4日(土)

錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した新作を紹介。3月の八海山麓スキー場では巨大な「雪の錯覚すべり台」を公開します。

⑫池田記念美術館収蔵品展

■3月14日(土)～4月4日(土)

当館収蔵品の中から、趣向を変えて作品を紹介します。

